

<第4281回>

目的地：白根三山（南アルプス）

担当者：茨木

実施日：2022年8月18日（木）～20日（土）

形式：小屋泊山行

費用：¥40,000.-

参加者：5名

行程：

8月18日 天気：晴れ

大阪東梅田(22:00)⇒

8月19日 天気：晴れ

⇒(6:00) 韮崎駅⇒広河原(7:55)→白根御池小屋分岐点(8:20)→白根御池小屋(10:51)→小太郎山分岐(14:03)

→北岳肩の小屋(14:40)

8月20日 天気：曇り

北岳肩の小屋(5:30)→北岳山頂(6:05)→北岳肩の小屋(6:53)→小太郎山分岐(7:39)→白根御池小屋(9:27)

→広河原(12:05)⇒甲府駅(13:45)(15:00) [解散]

感想：

出発前何週間も、メンバー全員が毎日毎日色々な天気予報を見て一喜一憂していましたが、何とか持ち直し出発できました。広河原で、当初予定の大樺沢ルートでの通行止めを知りました。大樺沢下部～二俣間の仮設橋が設置されていないとの事で、白根御池小屋ルートをとりました。7月29日には、奈良田付近で土砂崩れの為、通行止め下山不可になっていたようで、この山域は通行止めはしばしば起こっているようです。スタート直後からいきなりの急登でした。白根御池小屋を過ぎると、陽を遮るものがない中を更なる急登が続きます。わずかに残った花を楽しむ余裕もあまりない中、ひたすら登りました。さすが北岳、キツイ！その為、肩の小屋に着いた感激はひとしおでした。午後5時過ぎにはブロッケン現象も見れました。日中、仙丈ヶ岳、甲斐駒ヶ岳などは綺麗に見えましたが、富士山は雲がかかり見えませんでした。しかし、肩の小屋からは、日の入り・日の出とも綺麗に見えて感激しました。富士山は夜中も灯りが絶えないのを見てとれました。

夕刻に、翌20日は午後から風速25m・雨、稜線上は危険との情報を入手。縦走を断念し北岳ピストンで下山する事を決めました。

20日は、ザックを小屋にデポして身軽に北岳を往復。本来辿るはずであった北岳山荘、中白根山、間ノ岳や富士山を見ながら記念撮影に興じました。往復、風が強く予報の確かさを認識しました。

北岳からの下山時は、これをよう登ってきたなあ！と思いながら広河原にたどり着きました。

担当者は、最後の3,000m縦走でやっと南アルプスに登れ、北とは違う懐の深さを味わう事ができました。体力不足で忸怩たる思いがありましたが、至らない担当者をサポート頂いた参加者の皆様に心より敬意を表します。